

合格してもなぜ、定着しないのか?? 地方は大都市の人材補充機関となっている!!

- ※ 前回まで三連続で、「楽して合格させるシリーズ」を掲載した。その間、全国各地の受け入れ機関からの反響は、様々な問題までに及んだ。特に、「合格しても合格者が大都市に移籍する」との声が多数寄せられた。その結果、地方の人材不足は増々深刻になっている。
- ※ その裏付けとなる【都道府県別介護士合格率】を分析し、大都市と地方での合格実態を検証した。(表1参照) また、「合格しても言語能力がないために使えない」との声も多数あった。(【施設・病院の声参照】)

- ※ 検証した結果、受け入れ機関の声は決して的はずれではなく、【合格者を継続して多く輩出しているのは、地方にある】ことが判明した。(表3参照)
- ※ 人手不足が深刻な地方から、不合格率が高い大都市に人材を補充している実態が分かった。このことは、「地方の実績を大都市が横取りしている」と言わざるを得ない。また、この現象は合格者が受け入れ機関を差別化していることを表している。受け入れ機関は、今後このことを重要視する必要がある。

I、【過去三年実績で、東京都は上位になれず!!】

1. 東京都の学習支援金は、 一人当たり100万円なのに...

- 東京都は地方に比べ多大な支援金があるのに、合格者は数える程しかない。その原因は、「教育内容が受験者に合わない」日本語学校・大学・専門学校に通学させている。その結果、受験対策の学習ができてない。

表1、【都道府県別介護士合格者順位表】

順位	H28 県名	人数	H29 県名	人数	H30 県名	人数
1位	徳島	28人	愛知	19人	岡山	26人
2位	岡山・神奈川	13人	神奈川	18人	愛知・神奈川	22人
3位	大阪・香川	8人	徳島	16人	徳島	19人

(表3関連参照) 【出典：厚生労働省】

2. なぜ東京都は合格者が少ないのかその原因は...

- A. 教育機関の看板に誤った信頼性を持つため
- 首都大学東京の講座をはじめ、大手の日本語学校や専門学校に学習支援金を使って、通学させている受け入れ機関が多いため。
 - その教育結果は、表3の通りだ。就業時間内に通学し、人材不足で悩む現場の労働力にも使えず、給料は支払うという矛盾した現象がある。その結果、不合格者を多数出している原因となっているため。
- B. 外国人教育の特性を理解できていないため
- 大学講師や専門学校教師は、基本的に日本人向けの授業を行う人だ。即ち、外国人に分かる講義方法や理解度の確認方法は一切、知らないため。それが原因で教育報告書を出せないのが、現状把握ができない。

3. 日本語学校教育と、EPA教育との違いとは?

- A. 日本語学校の教育効果は、高いのか?
- 率直に言って、日本語学校の教育は低い。その原因として、日本語教師の資質が挙げられる。また、語学留学生は会話力だけを中心にして考えているので、国家試験に必要な読解力や構文力が養われない。その結果、合格できる能力は、決して高いものにならない。
- B. 日本語学校で国家試験対策ができるのか?
- 日本語教師には、国家試験対策の知識がない。そして、日本語教師と称しているが、言語教育を学んだ者は非常に数少ない。即ち、「言葉の説明役」を中心とした者だ。専門家から見るとこれらの者を「自称日本語教師」と定義づけている。よって、日本語学校では国家試験対策はできない。故に、合格できない。

II、【合格率は高いが、定着率が低いベトナム人をどう捉えるか?】

1. 「来日動機」は、何か知っていますか?

- ベトナム人の動機は「無料で三年間日本語学習ができる」と、さらに「学習時間を含めて給料が貰える」。そして、「在日期間を通して学習をしながら、母国に高額な仕送りができる」ことが、来日動機の大きな要因となっている。受け入れ機関は、このベトナム人の動機を大前提にして対応すべきだ。

2. 「来日動機」は、何か知っていますか?

- 国家試験合格を果たした後、「すぐ帰国して母国の日系企業に就職すること」が、彼らの最終目的となっている。即ち、現地の日系企業は、優秀な日本語能力者を優先して採用するために、また、その裏付けとして国家試験に合格すれば、「日本人並みの日本語力がある者」として認めるためだ。「国家試験合格は母国での将来を決定づけるため」に、表2の通り、ベトナム人の合格率が異常に高い。しかし、定着率は低く、インドネシア・フィリピン人よりも悪い。この点を認識して、人材育成する必要がある。

表2、【三年間の国別合格率】



Ⅲ、【なぜ、大都市合格率は減少し、地方合格率は上昇するのか？】

1. 年度とともに、大都市受験者は合格率を減少！！

- 表3はH26・27の入国者で、「受験者数と合格率」を表す。但し、受験者の中には「足切り受験者」をも含む。H26の平均合格率は63.4%で、全国平均50.7%を上回った。しかし、H27では27.3%で、全国平均と比較すると、18.7%も下回っている。この傾向は以降変わらない。
- 特に東京都は、H26で合格率が47%であったが、H27では23%まで下がっている。しかしながら、受け入れ人数は、17人から39人と22人も増加しているにも関わらず、合格率は前年度より24%をも下回っている。
- 大都市の合格率は、受験者数が増大すればするほど、下がることを如実に表している。なお、H26の平均合格率が高い要因は、福岡県の100%が大きく影響している。

2. 地方合格者が、大都市合格率を上回る傾向！？

- 表3の下表にある岡山県の例を見ると、H26では合格率が34%であったが、H27では受験者数は44人から63人と19人増加したにも関わらず、合格率は41.2%と前年度より、7.2%上昇した。
- 「受験者数の増加と合格率の関係」を見ると、岡山県では受験者数の増加に比例なく、合格率が前年度よりも確実に上昇していることが特徴と言える。この傾向は、大都市の傾向と真逆を示していることが特徴だ。

3. 地方合格者の教育過程の特徴とは？

- 第一に、自治体が主催する研修会が少なく、自力で学習しなければならない環境があること。第二に、専門学校・日本語学校に、通学する受験者が非常に少ないことが挙げられる。その結果、「日本語を日本語で考える思考性」が強まり、言語能力が高まる環境があることだ。
- 大都市の受験者は、同国人が多く集まる所に通学することは、言語教育を受ける上で大きな障壁があることに気づくべきだ。その障壁とは、学習環境が母国化することにより、通学することによって学習意欲をそぎ、卓然思考が強まり、学習意欲を減退させる要因となることだ。

表3、【大都市受験者数と合格率】
(H27入国者) (H26入国者)

（H27年度）			（H28年度）		
県名	人数	合格率	県名	人数	合格率
愛知	56人	39.2%	神奈川	38人	50%
神奈川	54人	40.7%	大阪	28人	50%
大阪	41人	21.9%	愛知	27人	70.3%
東京	39人	23%	東京	17人	47%
福岡	17人	11.7%	福岡	2人	100%
平均合格率		27.3%	平均合格率		63.4%
全国平均率		46%	全国平均率		50.7%
※ 岡山 63人 41.2%			※ 岡山 44人 34%		
※ 表3の合格率は、表4の合格者数【都道府県別介護士合格者数比較順位表】を関連参照すること。					
【出典：厚生労働省】					

4. 確実に「合格率」を高めるためには？

- 第一に、「三か年学習計画」を確立すること。第二に、入職年度は【基礎言語能力】を養うこと。第三に、二年度目には【生活言語能力】を養い、さらに、参考書を読める読解能力を養うこと。第四に、三年度目には【職域言語能力】を養うとともに、国家試験合格能力を養うこと。
- 上述の教育過程を客観視するために、受験者の言語能力が把握できる日本語能力到達度試験を定期的に行い、適切な指導がとれる体制をつくること。
- 第五に、三年目の後半には、過去問題の正解率が85%以上になり、解答時間は1問1分間以内に対応できる能力を身につけさせる指導をすること。

Ⅳ、【到達度試験参加者が多い県ほど、上位を占めているのはなぜか？】

表4、【都道府県別合格者数比較順位表】
(H30合格者数) (H29合格者数)

順位	県名	人数	順位	県名	人数
1位	岡山	26人	1位	愛知	19人
2位	愛知	22人	2位	神奈川	18人
	神奈川	22人	3位	徳島	16人
4位	徳島	19人	4位	岡山	15人
5位	茨城	15人	5位	大阪	14人
6位	千葉	12人	6位	兵庫	11人
	静岡	12人	7位	広島	10人
8位	大阪	9人		香川	10人
	東京	9人		千葉	10人
10位	岐阜	7人	10位	東京	8人
	香川	7人		山梨	8人

介護士合格者数

【出典：厚生労働省】

1. 言語教育には、体系的な教育方針が必要

国家試験の受験能力を養うためには、日本語学校などで行われる教育方針ではなく、「国家試験受験能力、並びに合格能力を養う」ことを目的とした教育方針が必要だ。

2. 受験能力には、【基礎言語能力】が絶対必要

国家試験問題は、日本語文であるために、その問題を読解できる識字能力と文意理解力が必要だ。特に「助詞の使い方を理解する能力」が絶対必要だ。

3. 受験対策には、解答能力（テクニック）が必要

受験対策では【受験テクニック六つの基準】を習得させて、問題に対して瞬時に使える訓練をすること。さらに、一問を1分間以内で正解を導き出す指導をすること。

4. 合格能力には、参考書を自学する能力が絶対必要

過去問練習を絶対視するのではなく、参考書で過去問中の専門知識を確認する能力が、絶対必要。

※ 到達度試験参加者は、毎年高得点で合格！！

表4の「合格者数順位表」では、参加者がH29の場合、10位中8県に渡って合格者がいた。そして、H30では7県にいた。いずれも、85%以上の成績を残している。

★ 受験者にも渡して、「読み聞かせ」をして下さい。

病院・施設の声

看護部は、何も変革しない！！

- 大阪にあるEPAが集まって学習できる学校に入れて、日本語と専門知識を学習させているが、現状の日本語力は全く伸びていない。私は総務だから、毎日、受験者と接しているわけではない。だから、余計に会話が通じないことがよく分かる。
- 現場で指導している看護師は、忙しい中、受験者に接しているため、日本語力の変化がよく分からないと思う。
- これでは、時間をかけて指導しても変わらないし、合格はとても望めない状態だ。しかし、総務が看護部に言っても、教育の質を変えようとしな。 (大阪府・V病院)

合格後の意識は、大阪に！！

- 受験者が仕事に慣れてくると、現場は新しい仕事をさせたがる。だが、日本語力がないので、総務はもう少し学習させたほうが良いと言うが、それに対して現場は、「人手不足のために、学習に時間を避けない。」と言う。
- 人数が多く、日本語のレベル差が出てきているし、介護の学習もさせないといけな。このままでは合格は望めない状態だ。
- 合格後の本人たちの意識は、大阪方面の施設にあるようだ。給料も月あたり、1万円くらいは違うので、受かったら都会に移ってしまうのではないかと不安を感じている。 (奈良県・Y施設)

実践力がない合格者！！

- 受け入れ三名中、一名は途中帰国、もう一名は不合格、一名はろうじて国家試験合格を果たした。しかし、合格した者は、当院で働いているが、日本語の壁がまだまだあり、思うように患者や職員と会話ができず、正直言って、実践力になっていないのが実態だ。
- 現場の看護師からは、「医療業務を任せることは、意思疎通ができないので怖い。」と言われる状態だ。だから、看護助手的な仕事しかできない。苦労した甲斐がない。
- 合格させるために、病院としても教育に力を入れ、専門の講師を雇い、高い金を投資して指導を続けてきた。しかし、現場からの「実践力にならない。」という不満の声を聞くと、日本語力の重要性を今、感じている。 (東京都・K病院)

専門学校への通学を嫌がる受験者！！

- 横浜市内の専門学校に週一回、通学させている。「仕事が終わってから学校に行くのは嫌だ。」とか、「先生の言っていることが分からないから、学校に行きたくない。」という受験者が中にはいて、学習のモチベーションが下がっている。
- 学校までは施設から遠くはないので、単なる、受験者の我儘にしか過ぎないと思っている。今では「通学拒否」が深刻な問題になっている。なぜならば、国家試験が近づいているために、このままでは合格は望めないと、思うからだ。
- しかし、専門学校からは受験者の教育内容の報告がないために、具体的な対応ができないので、どうしたら良いのか困っている。 (神奈川県・T施設)

【到達度試験】参加前と、後の変化は？

【病院の変化】 教育方針を大転換！！

- 【到達度試験】参加前の受験者は、不合格者を出し続け、全員帰国した。だから、思い切って教育方針を大転換して、【到達度試験】に参加した。
- 参加者は、不合格になった受験者とは全く違って、入職して半年後には業務の中で意思疎通ができ、戦力として使えた。受験者が不得手な領域の問題を、スカイプ授業で指導されたので、確実に合格圏に成長していることが分かった。
- 特に、情景設定問題の1問を1分間で解けるようになった。試験当日は、問題の見直しができるようになった。その結果、高得点で全員が合格し、現在、大きな戦力になっている。 (Y病院)

【施設の変化】 参加したら全員合格！

- 2回目までの受験者は、地元の専門学校に通学させた。受け入れを始めて3年目には、初めての国家試験を受験したが、全員不合格となり、次の受験者も、全員不合格となった。受験者数は合わせて8人にもなる。この費用は膨大だ。
- 3回目の受験者からは、耐えられずに、【到達度試験】に参加した。参加前の受験者は日本語力もなく、意思疎通ができなかったが、参加した受験者は1年目から意思疎通ができ、夜勤にも入れるようになった。参加者は全員合格して元気よく働いている。受け入れた以上は、人材不足の戦力にしたいのは当然だ。 (M施設)

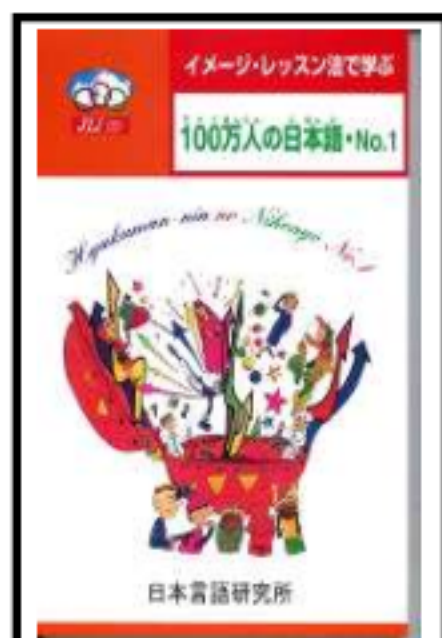
自学能力を養うための 適切な教材！！

- ① 視覚的に学べる ② 日本語の「規則性」と用法」が学べる
- ③ 漢字も類推して読める ④ ストーリー性があり、体系的に作られている

EPA学習支援
スカイプ・教材の問い合わせ先
ことばの研究所
電話：086-431-3481
FAX：086-431-3482
岡山県倉敷市庄新町 9-4-12

学習支援 主教材

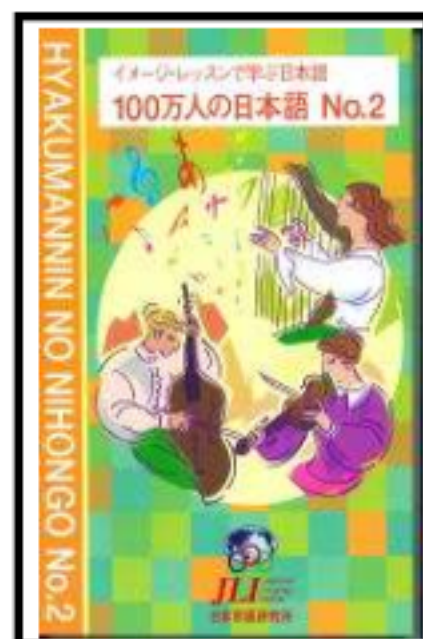
基礎言語能力レベル



【テキスト「100万人の日本語 No.1」】

ひらがな・基本漢字の習得とともに、全ての言語活動の基本となる概念を形成し、名詞文・存在文・普通動詞文を無理なく学習できる構成となっています。(2805 円)

※ 習得漢字数 310 字～620 字



【テキスト「100万人の日本語 No.2」】

会社や学校、家庭内などあらゆる場面における会話を中心に構成され、社会生活に必要な抽象語を理解しながら、性別や立場による言葉の使い分けを習得できます。また、形容詞文学習により心情・語感表現力の基礎を築きつつ、各ページのコーナーで日本語のあらゆる規則性と用法を自学できます。(2805 円)

※ 習得漢字数 420 字～840 字

※ 習得語彙数 570 語～1,710 語

生活言語能力レベル



【テキスト「100万人の日本語 No.3」】

日本社会に適切できる人間関係を理解して、目上の人に対する礼節を保つ表現力が身につきます。

論理的に文を組み立てた長文が書けると同時に、漢字熟語を使った要約文を書けるようになります。

仕事に関連する語彙を自分で辞書を引いて調べることができます。(3,300 円)

※ 習得漢字数 850 字～1,700 字

※ 習得語彙数 1,110 語～3,330 語

使ってみてビックリ！
教育効果の高さ
学習支援 副教材

基礎言語能力レベル

職員の手が掛からずに、
受験者だけで勉強できる教材



表面にはひらがな文字が一文字ずつ書かれており、裏面にその文字を使った語のイラストが色彩鮮やかに描かれています。
イラスト面には「ひらがな・カタカナ・漢字」の3種類でその言葉が表記されており、学習者が文字を比較しながら自学できるつくりになっています。基礎教育の日本語学習者に最適な内容になっています。
(1,155 円)



ひらがな文字の自学に最適な教材です。字形、書き順などの練習だけでなく、全ての日本語の基礎となる「しつもとこたえ方」に絶対必要な発話方法を、身近な事例を使って学習できるようになっています。社会生活に必要な最低限の語彙も同時に習得し、定着できるように作られています。
(1,980 円)

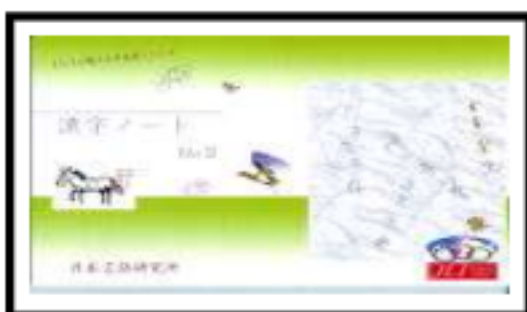


『100万人の日本語 No.1』に沿った構成となっており、文型・成文の習得をしながら効率的に漢字の読み書きが習得できるようになっています。
非漢字圏の学習者が漢字習得をする上で最適。
また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)

生活言語能力レベル



カタカナ語彙を使った場面を表すイラストが各ページにあります。このノートは説明文と会話文が織り成されています。この場面を紹介する文は、外来語の理解とその音出し練習をしながら、練習問題によって読解力と文型の応用力を養えるようになっています。
(1,496 円)



『100万人の日本語 No.2』に沿った構成となっており、漢字習得と成文練習のみならず、読解力も同様に養えるように作られています。
漢字の「へん・つくり」の付録もあって、漢字の成り立ちに対する理解ができる内容となっています。
非漢字圏の学習者が漢字を習得する上で最適。
また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)

◎ 到達度試験Aコース(独立型)

ことばの研究社

<自学能力養成型コース>

【一年目 到達度試験 初回レベル～Dレベル】

※ 【自学能力】を養うことを目的としたコースです。
言語能力は、日本人の中学2年生までの能力に達するようにプログラムされています。

※ 【自学能力】を養う教材を使用

主教材 ・「100万人の日本語No.1」

(日本語の規則性と用法育成用)

・「100万人の日本語No.2」

(中文読解と文脈理解育成用)

副教材 ・ひらがな絵かきと (瞬時反応能力育成用)

・ひらがなの一と (構文力育成用)

・カタカナノート (説明文・会話文の用法育成用)

・漢字の一と1 (基礎漢字と文型理解育成用)

・漢字ノート2 (熟語漢字習得育成用)

・手渡し教材随時

【二年目 到達度試験 Eレベル～国試3レベル】

※ 日本人の専門学校生と同等レベルの言語能力に達することを目的としたコースです。そのため、マークシート方式の国家試験問題の解答能力だけでなく、文書で解答できる能力が育成できます。

※ 主教材 ・「100万人の日本語No.3」

(日本語の運用と活用育成用)

副教材 ・手渡し教材随時

・国家試験過去問題集

【三年目 スカイク授業 5回(1回2時間)】

※ 日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養い、国家試験合格を目的としたコースです。

※ 主教材 ・専門参考書

副教材 ・手渡し教材随時

・国家試験過去問題集

【指導内容】

① 職種に合わせた専門書の理解の仕方指導

② 類推力の育成で専門用語(熟語漢字)の対応指導

③ 要約力を養い実務能力の育成指導

【学習並びに、問題点を客観的に把握するために、以下の報告書提出し、現場の指導に役立てます。】

※ 【到達度試験】後は、毎回「考察票」を提出。

※ スカイク授業後は、毎回「授業内容報告書」を提出。

※ ※ 価格等の詳細については、メールでお問い合わせ下さい。

各段階の学習目標と、特徴

一 年 目	★基礎言語能力の育成 ①日本語の「規則性と用法」を理解させて、【自学能力】を養う。 ②1,755語の基本漢字が習得できて、日本人の中学2年生レベルの言語能力を養う。 ③会話力は、生活上に支障が無いレベルで、意思伝達能力は、話し相手と円滑にできる能力を養う。	●日本語能力を養う ①職場での会話力は、日本人の中学2年生レベルまで、できるようになる。 ②職員の指示を的確に内容把握でき、それに従って行動できるようになる。 ③読解力が身につくため、必要な日本語文の書類を読むことができるようになる。 ④簡単な業務日誌が書けるようになる。
二 年 目	★生活言語能力の育成 ①日本語の「運用力」を身につけ、正確な意思疎通力を養う。 ②仕事を自主的に行い、責任を持って業務を遂行する能力を養う。 ③日本語力を高校3年生レベルにし、夜勤業務に就ける能力を養う。	●国家試験受験能力を養う ①専門参考書の「技術編」を読み、文で答えられるようになる。 ②専門用語の漢字を「類推して読解」できるようになる。 ③自学で「過去問」ができるようになる。
三 年 目	★職域言語能力の育成 ①日本語を使った「業務実践力」を行える能力を養う。 ②会議等で意見を発言し、内容把握ができる能力を養う。 ③要約力を養い、会議等で的確なメモをとれる能力を養う。 ④日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養う。	●国家試験合格能力を養う ①専門参考書の抽象問題領域「法律・日本事情等」が読解できるようになる。 ②日本事情の専門知識を体系的に把握して読み理解できるようになる。 ③マークシートの解答ではなく文書による解答ができるようになる。

◎ 到達度試験Bコース(併用型)

＜ おまかせコース ＞

【一年目 到達度試験(初回～Dレベル)+スカイプ】

※【自学能力】を養える【到達度試験】と対面教育ができる「スカイプ授業」を併用しています。

日本人の中学2年生までの能力に達するプログラムで、特に、正しい会話力が身につけられるコースです。

※【自学能力】を養う教材を使用

主教材・「100万人の日本語No.1」

(日本語の規則性と用法育成用)

・「100万人の日本語No.2」

(中文読解と文脈理解育成用)

副教材・ひらがな絵カード(瞬時反応能力育成用)

・ひらがなの一と(構文力育成用)

・カタカナノート(説明・会話文の用法育成用)

・漢字の一と1(基礎漢字と文型理解育成用)

・漢字ノート2(熟語漢字習得育成用)

【二年目 到達度試験(E～国試1レベル)+スカイプ】

※日本人の専門学校生と同等レベルの言語能力に達することを目的としたコースです。

スカイプ授業併用型なので、マークシート方式の国家試験問題の解答能力だけでなく、文章で解答できるようにプログラムしています。

※【自学能力】を養う教材を使用

主教材・「100万人の日本語No.3」

(日本語の運用と活用育成用)

副教材・手渡し教材随時・国家試験過去問題集

【三年目 到達度試験(国試2、3レベル)+スカイプ】

※日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養い、国家試験合格を目的としたコースです。

日本人の職員と同等に業務ができるまでの能力に達するように、プログラムしています。

また、国家試験合格後でも、同じ職場で働く意欲を養うことも目的としています。

※主教材・専門参考書

副教材・手渡し教材随時・国家試験過去問題集

【指導内容】

① 職種に合わせた専門書の理解の仕方指導

② 類推力の育成で専門用語(熟語漢字)の対応指導

③ 要約力を養い実務能力の育成指導

【学習並びに、問題点を客観的に把握するために、以下の報告書を提出し、現場の指導に役立てます。】

※【到達度試験】後は、毎回「考察票」を提出。

※スカイプ授業後は、毎回「授業内容報告書」を提出。

※※ 価格等の詳細については、メールでお問い合わせ下さい。

各段階の学習目標と、特徴

★基礎言語能力の育成

- ①スカイプ授業を併用するために、対面学習で、適切なプロの指導が受けられる。そのために、確実な日本語力が養える。
- ②日本語の「規則性と用法」を理解させて、【自学能力】を養う。
- ③1,755語の基本漢字を習得でき、日本人の中学2年生レベルの言語能力を養う。
- ④会話力は、生活上に支障が無いレベルで、意思伝達能力は、話し相手と円滑にできる能力を養う。

●日本語能力を養う

- ①職場での会話力は、日本人の中学2年生レベルまで到達できる。
- ②職員の指示を的確に内容把握でき、それに従って行動できる。
- ③読解力が身につくため、必要な日本語文の書類を読むことができる。
- ④簡単な業務日誌が書ける。
- ⑤スカイプ授業は、受験者の表情を教師が読み取れるので、「本当に理解しているか、どうか」が判断でき、確実な言語能力がつく。

★生活言語能力の育成

- ①日本語の「運用力」を身につけ、正確な意思疎通力を養う。
- ②仕事を自主的にやり、責任を持って業務を遂行する能力を養う。
- ③日本人の高校3年生レベルにし、夜勤業務に就ける能力を養う。
- ④日常会話力が支障なく使える能力を養う。

●国家試験受験能力を養う

- ①専門参考書の「技術編」を読み、文で答えることができる。
- ②専門用語の漢字を「類推して読み、意味理解」できる。
- ③自学で「過去問」を解ける。
- ④スカイプ授業併用型なので、問題・疑問が、その場で解決できる。

★職域言語能力の育成

- ①業務の実践力を養う。
- ②会議で意見を発言して内容把握でき、メモをとる能力を養う。
- ③話の内容を的確に、まとめる能力を養う。
- ④日本人社会人と同等レベルの言語能力を養う。
- ⑤スカイプ授業なので日本人感覚の「語感・語調」を、正しくプロの教師が養う。

●国家試験合格能力を養う

- ①専門参考書の抽象問題領域「法律・日本事情等」が読解できる。
- ②日本事情の専門知識を体系的に把握して、読み理解できる。
- ③マークシートの解答ではなく、文章による解答ができる。
- ④専門語彙と専門知識を自学できる。

【 国家試験受験能力到達度試験の特徴 】 EPA学習支援 こぼの研究社

【国家試験受験能力到達度試験】の特徴は、自学能力を養い、言語技能が並行的に伸び、受験者の対応能力が養えます。 教育効果は介護分野では、国家試験合格者を **3年間連続で、80%以上の実績を誇っています。** また、看護分野でも、EPA受験者全体の合格率が10%前後に留まっているのに対して、【到達度試験参加者】の合格率は、**55%**と高い水準を保っています。

これは、**受験者全体の合格率10%の5倍の高さ**を示しており、驚異的な合格率といえます。

※ 本試験は、あくまでも、専門領域で社会人として働ける能力を養うことを、重要視した学習方法です。

さらに、受験者が日常の業務の中で、日本人職員とのコミュニケーション能力をも身につけることができるために、介護施設や病院などで実践力のある要員として、育成することを目的としています。

※【到達度試験参加者】には、定期的に試験結果を「考察票」でお送り致します。「考察票」には、指導者用のために、具体的な指導方法を記しておりますので、安心してご指導頂けます。

レベル	合格基準	特徴	技能の種類	合格
3段階	75 % 専門学校卒の 言語能力	※ 国家試験に対する合格力と知識力を養う ◎ 国試問題に対する「文脈読解」と「要約力」 に対応できる学習をさせる。	★ 5 技能 ・ 瞬時反応 ・ 文脈読解力 ・ 要約力など	職 域 言 語 能 力 を 養 う
2段階	90 % 専門学校 2 年 の言語能力	※ 専門知識の活用力を養う ◎ 国試過去問を使った「漢字専門用語」（漢字 熟語）と「文脈読解力」に対応できる学習を させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応 ・ 漢字熟語力 ・ 文脈読解など	
1段階	90 % 専門学校 1 年 の言語能力	※ 専門知識の運用力を養う ◎ 国試過去問を中心とした問題で「読解力」 （語彙力・文意力）に対応できる学習をさせる。	★ 3 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	
F段階	85 % 高校 3 年の 言語能力	※ 専門領域の基礎力を養う ◎ 介護・看護の基礎知識を基に具体的な事例で 学習させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	生 活 言 語 能 力 を 養 う
E段階	80 % 高校 1 年の 言語能力	※ 日本語の「規則性と用法と運用力」を養う ◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 運用力が身につく学習をさせる。	★ 9 技能 ・ 文読解力 ・ 図読解力など	
D段階	75 % 中学校 2 年の 言語能力	◎ 日本語の用法を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 対応力 ・ 要約力など	
C段階	70 % 小学校 6 年の 言語能力	◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文脈力 など	基 礎 言 語 能 力 を 養 う
B段階 N2レベル	70% 小学校 4 年の 言語能力	※ 日本語の基礎知識を養う ◎ 日本語を表現するために必要な「基礎的な 知識とその使い分け」ができる能力を中心 として学習させる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 読解力など	
A段階 N3レベル	75 % 小学校 3 年の 言語能力	・ 構文力・読解力・文字（ひらがな・カタカナ・ 漢字）・助詞・接続詞の使い分けなど。	★ 13 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文字認知力 ・ 読解力など	
初回		受験者の現状の日本語能力を観る。		